

2016-2017年度RI会長 ジョン F ジャーム  
2016-2017年度第2770地区ガバナー 浅水 尚伸  
2016-2017年度大宮ロータリークラブ会長 橋本 和久

「人類に奉仕するロータリー」  
「楽しいロータリークラブを作り上げよう」  
「奉仕と親睦、新たな一歩を踏み出そう」



本日も例会出席ありがとうございます。先週の例会の後星野幹事と共に我々が資金援助をしています児童養護施設「ホザナ園」へ訪問して参りました。この施設は親の暴力や様々な事情で家庭で育てられない子供の施設です。施設運営には色々な苦勞があるようで、我々の奉仕は資金援助が一番適当であると痛感して参りました。

10月も10日を過ぎやっとな涼しく過ごし易くなってまいりました。朝晩はちょっと寒い感じですが、お体をお大事にして下さい。連休は穏やかに過ごされましたでしょうか？私は取り寄せておいた「16歳の語り部」という本を読みました。5年前の3.11に小学校5年生であった3人の子供達が未来の為に、語っています。当時5年生「僕たちがあの日、あの時、何が起こったのか理解できた最後の世代で、しかもその体験を自分の言葉で伝えられる最後の世代なんです」彼らの下の世代では理解できない、そもそも覚えていないかもしれません。そう言う意味から最後の世代なのでしょう。

一人の男の子は語っています。避難場所に着いたとたん波が来て一歩遅かった50代位のおじさんが僕の目を見て、僕に向かって手を伸ばしていた。でも僕は手をさし伸ばす事はできなかった。その人から目をそらし一度も後ろを振り向かず全力で走った。また女の子は言います。今は社会的に何でも記録に残そうとする。ネットやデジカメ、メール、紙。しかしそれが流された時の事を考えて見て下さい。流されて初めてそれが自分の心の中にちゃんと残っていなかった事に気がつく。みなさんに伝えたいのは記録するのも大事ですが、もっと生の実際の人と人との関わりを大切にしたい。話したいことがあったら会いに行き、会いに行けなかったら電話をします。私はちゃんと相手のことを、目や耳や胸に焼き付けながら生きていきたいと・・・

昨日さよならと言った友達が明日もういないという事が起こりえる。一日一日を大切に生きていと言っています。そんな体験を一人で抱え込むのではなく人に伝える手段がある。伝える事で救える命があると思ったそうです。あの震災から得た教訓を後世に伝え、残す事は、未来への財産になるはず。3人の体験から命を守る大切さを訴えています。そして最後にはこんな言葉でくっっています。今日も世界中に「ただいま」があふれるよう、強く望みます。と・・・

今月23日には石巻へ行きます。少年野球の支援もちろん大切な奉仕活動であります。皆さんが現地で見、聞き感じた事を周りの人に伝える。この事が一番大事であると思います。日本に住んでいる限り津波、地震、火山噴火、台風などいづれ災害はやって来る。いわば「未災地」なのです。その意味から日本人であるならば、あの震災体験は必ず共有すべき事柄であると私は感じます。

さて本日はルミネ大宮にも出店されています。創業1903年、今年で113年の歴史あるレストラン「日比谷松本楼」代表取締役小坂文乃様をお迎えしました。小坂様は中学高校時代イギリスでお過ごしになられ、立教大学社会学部観光学科をご卒業後、ウェッジウッドを経て日比谷松本楼に入社され現在に至られます。また辛亥革命を起こした孫文を生支援助した梅谷庄吉さんのひ孫にあたられます。本日の卓話タイトルは「孫文と梅屋庄吉～孫文生誕150年を迎えて」です。ちょうど辛亥革命は1911年10月10日に始まったそうですのでタイムリーな卓話ではないでしょうか。後ほどお話を伺いたと思います。本日も最後までお付き合いよろしくお願ひ致します。

会長 橋本和久

### 「孫文と梅谷庄吉～孫文生誕150年を迎えて」

私の母方の曾祖父が梅屋庄吉になります。11月12日には孫文生誕150年になります。日本ではほとんど取り上げられませんが中国では様々な行事が行われます。日本人と孫文の関わりはあまり知られていません。また孫文と後の副国家主席になられた宋慶齡を日本で結婚に結びつけたのが梅谷庄吉です。孫文の革命は日本の明治維新を見習い、革命生活30年のうち10年は日本で過ごしています。また地理的にも近い九州の方との関わりがより強かったようです。梅谷庄吉もまた1868年長崎の出身です。貿易商で裕福な家の冒険心の強い庄吉は14歳の時上海に渡ります。当時の上海は欧米列国の支配により中国の人々は人としての尊厳を与えられないような状況を見たのです。同じアジア人として危機感をもったのです。一方孫文は広東省の貧しい家に1866年に生まれました。

### 日比谷松本楼 代表取締役副社長 小坂 文乃 様

12歳の時、事業に成功した兄の下ハワイでアメリカの民主主義やキリスト教を学びました。

両人とも若い頃自国を外から見たからこそ共にアジアの将来を夢見られたわけです。

1895年、二人は香港で出会います。孫文の医学校時代の恩師、イギリス人ジェイムスカントリーにより引き合わされるのです。固く将来を誓うに至る。二人は肝胆相照らし「君は兵を挙げよ、我は財を持って支援す」この約束を梅谷は一生守るのです。孫文は1895年10月革命を起こします。その後11回も革命に挑戦します。当然清朝政府から目を付けられます。



- 創立: 昭和30年12月2日 ● 例会日: 毎週水曜日 12:30～13:30 ● 会場: パレスホテル大宮
- 事務局: 〒330-0802 さいたま市大宮区宮町1-95岩井ビル2-2階 ● TEL: 048-645-0130 ● FAX: 048-647-1714
- E-mail: o-rotary@bz01.plala.or.jp ● HP: http://www.orotary.hs.plala.or.jp/

梅屋もシンガポールに逃げます。そこで映画ビジネスで成功します。日本でも映画に成功し日活の創設にも関わります。その裏で当時の中国の革命家と共に松本楼で宴会を開いております。梅屋は松本楼のお客様だったのです。梅屋の孫娘、すなわち私の母と松本楼の3代目が一緒になったと言う訳です。

当時革命を目指す学生が沢山日本に留学し、明治維新を学んだのです。彼らが梅屋等の資金で革命を起こしていくのです。この事は両国の人々には知られていないのです。そして1911年辛亥革命が起こっていくのです。その状況は梅屋により映画に撮られていきます。今では中国で一番古い近代史のフィルムで貴重な物です。当時梅屋は私財を投入し、武器・弾薬・飛行機までも調達しました。

1915年梅屋・トク夫妻の仲立ちにより孫文は亡命中梅谷邸にて宋慶齡と結婚をします。回りの大反対を押し切って。その後中国へ帰るまでの間梅屋家にいました。当時宋慶齡が弾いていたピアノは松本楼にあります。

孫文は今でも中華人民共和国の心の父「国父」。そして宋慶齡は中国の母。この二人を結婚させたのが梅屋庄吉夫妻である事は歴史的にも大変重要な事なのです。革命の為に私財を投入した事以上に両国にとって重要な事なのです。

梅屋庄吉はまた中国のみならず、アジアはアジア人の手で平和を目指すという考えからフィリピンやインドの独立も応援しました。孫文は結婚9年後肝臓がん侵されます。晩年、日中関係が悪化する中それを憂い神戸にて「大アジア主義」講演を行っています。1925年北京で亡くなりますが埋葬されるまで梅屋は付き添いました。

梅屋庄吉はその後孫文の「功績を後世に伝えたい」と銅像を4体作り送ったのです。その銅像は文化大革命時に破壊されそうになりましたが、時の周恩来首相の命令で破壊を免れています。また梅屋は映画人として「大孫文」という映画を作り日中関係の悪化を防ごうとしましたが、満州事変が起こりその望みは絶たれたのです。その後国内で梅屋は売国奴と言われましたが望みを捨てず当時の外務大臣に戦争を防ぐべく密談をしましたが、志半ばで亡くなりました。65歳胃がんでした。梅屋の遺言によりこれまでの歴史は口外すべからず、との事で全て歴史の底に沈んだのでした。44年前中国と国交回復時、宋慶齡が梅屋庄吉の娘、私の祖母ですが招待されました。その時の手紙に「梅屋と孫文の宝のような友情はどんなに時間が経ってもどんな情勢になろうとも消し去る事はできない」と副国国家主席のお立場で日本人と深い友情があった事を記しています。そしてこの歴史が再び世に光が当たったのは2008年胡錦濤国家主席が来日した時からなのです。私は日中のこれからを担う若い世代に伝えたいと上海万博をはじめ、日中の各地で展示会や講演会を開いております。この歴史をベースに九州を中心に歴史を大切に交流、経済活動が広められる事を願います。

時間が短く申し訳ありませんでした。  
孫文と梅屋庄吉の固い男の約束に感動しました！ありがとうございました。



小坂さん卓話ありがとうございました。 浅野仁 飯野耕司 岩瀬雄一 岩田尚明 遠藤省吾 大瀧榮壽 大竹敦 兼杉涼二 川島利雄 小林憲樹 小坂良二 小林康一 齋藤守毅 櫻井義久 鈴木俊一 高山利弘 竹内裕司 田中康之 徳山義行 中川高志 橋本和久 長谷川剛 星野晃一郎 本多隆 森正志 山本和保 岩井良彦

小坂さん本日は卓話ありがとう。お父様とは大学で同級生でした。  
山本さん司会ありがとうございます。 祝原英隆 栗岡宏治 辻本恵太 橋本和久 平田繁 福島謙二 星野晃一郎 岸聡 星野晃一郎 三浦守 星野晃一郎 善行地潔 星野晃一郎 橋本和久 星野晃一郎 飯野耕司 田中康之 橋本和久 戸井田修 栗岡宏治 星野晃一郎 橋本和久

赤い羽根バッチです。  
石巻での奉仕活動大勢参加ありがとうございます。  
石巻東北奉仕三浦会員よろしくお願ひ致します。  
次週はガバナー公式訪問リハーサルです。皆様ご協力お願ひいたします。  
皆様、米山、財団の寄付をよろしくお願ひ致します。  
先週誕生日祝いを頂きましてありがとうございます。今月42歳になります。  
先週例会の後、星野幹事と「ホザナ園」を訪問して参りました。  
田村会員、先日は大変お世話になりました。今後ともよろしくお願ひ致します。  
本日早退いたします。  
パレスさん。いすが変わりましたね。座り易いです。  
朝晩と大変涼しくなりました。皆様お体ご自愛下さい。

ガバナー一年度へ向けて地区副幹事等皆様にお願ひしていかねければなりません。どうぞご協力お願ひ申し上げます。

10月23日の東北奉仕には多数ご出席ありがとうございます。予定を発表します。

米山・ロータリー財団寄付をよろしくお願ひします。



本日の合計金額 69,000円

本日までの累計金額 974,000円

来週は公式訪問リハーサルです。10月30日ロータリーフェスタ。

中川ガバナーミニ

三浦 奉仕P 委員長

スマイル 石井 会員

司会 山本 会員 出席 善行地 会員

次回例会案内 第3021例会 2016年 10月26日 12:30

ガバナー公式訪問

委員長・小委員長様は発表がございませう。入会3年未満の会員はご出席お願ひします。

当日	例会	会員数	出席率
10月12日	第3019例会	67名(66名)	43名 65.15%
前々回	例会	メークアップ	修正出席率
9月28日	第3017例会	10名	78.46%



ごちそうさまでした...